



鷺の湯伝説

平安時代の初期貞観2年(860年)に、比叡山延暦寺の高僧円仁法師の枕元に薬師如来が立たれた。お告げの通りに西国巡礼の折に、美作国塩垂山麓に登り、周囲の景色を眺めていると、一羽の白鷺が葦の生い茂ったきれいな水溜まりに立っていた。足の傷を癒す白鷺に導かれてその水を汲んでみると温かく、味わってみると塩気があり、薬湯であることが分かった。このような鷺の湯伝説に息づくのが「湯郷温泉」で、「奥津温泉・



湯郷温泉 円仁法師像

湯原温泉」と合わせて美作三湯と呼ばれ、親しまれている。湯郷温泉第3泉源と湯郷鷺温泉平成源泉の混合泉で、泉質はナトリウム・カルシウム・塩化物温泉(低張性アルカリ性温泉)、40・5℃、PH8・4となっており、効能はアトピー、胃腸病、婦人病、リュウマチ、神経病などである。16軒の宿と二つの入浴施設があるが、それぞれが異なった浴用を楽しめる。

湯郷温泉の楽しみ

夕食後の楽しみとして、噴水見物や湯巡りがある。「ゆーらぎ橋」

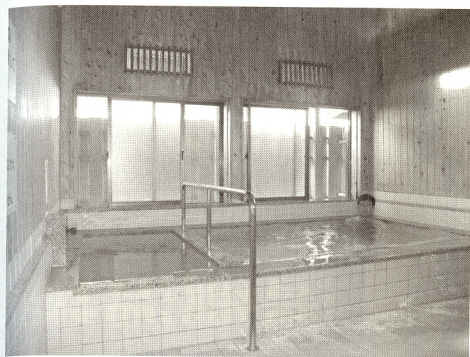


湯郷温泉 鷺温泉

を渡り始めると、センサーが感知して、湯郷温泉の説明が始まる。橋の途中には、巾27m高さ15mの放水される水量によって、鷺が羽ばたくようにも見える噴水があり、夜間はライトアップされて幻想的な光景となる。季節によって時間帯に多少変動があるが、おおむね毎時0分から20分間である。

(タイトル写真)

「湯郷鷺温泉館」と13軒の旅館のいずれか3ヶ所のお風呂に入れる900円の「湯巡りコースター」が、各宿泊先の旅館で販売されて



湯郷温泉 療養温泉

DATA

鷺湯郷温泉館及び村の湯

美作市湯郷 595-1

TEL: 0868-72-0279 FAX: 0868-72-0278

交通: 車: 中国道、美作ICから8分

鉄道: 姫新線、林野駅下車バス7分

営業時間: 8:00~22:00

休館日: 毎月第2水曜日(祭日は翌日)、

8月のみ第1水曜日

入泉料: 600円(大人) 400円(小人)

休憩一日: 1,800円(大人) 1,200円(小人)

家族湯: 3,000~4,000円

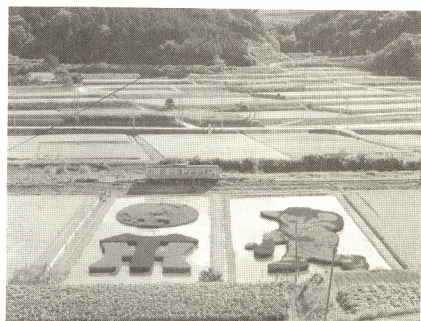
おり、日帰り施設の「湯郷鷺温泉館」の入浴料が600円であるから大変お得である。平成11年4月に新装オープンした施設で、毎週日曜日朝に、男女の入れ替えを行っている。1階に、落差がある動の湯(ドライサウナ付)と、洞窟風呂がある静の湯(ミストサウナ付)の内湯と露天風呂が整った大浴場があり、2階には、露天風呂付、身障者用、ジャグジー付などの家族湯が5つ整っている。その他に、30人が休憩出来る大広間を

備えている。古き良き湯郷温泉を偲ぶレトロな写真があり、地味ながら湯治場としての歴史を感じさせている。温泉会館の左手には源泉掛け流しの浴舎がある。「療養温泉・村の湯」で、料金も営業時間もまったく同じである。「石鹸やシャンプーを使えない」「ゴミのような湯花がある」などと念を押されるが、療養温泉の名のごとくじっくりと浸かる旬の湯である。残念なことに湯船の段差が高くて、高齢には使い辛そうに思えた。

コラム

車窓から見つけた

トラちゃん田圃



姫新線のトラ田

姫新線姫路〜津山〜新見の線路端の田圃に、色の違う古代米を植え分けして、生育とともにタイガーズゴゴとトラッキーが描かれるようになっていく。中国自動車道の作東ICの近くの坂道に駐車場が準備されているので、歩道からじっくりと鑑賞できるようにになっている。1両のローカル線であるが、車輛と一緒に写真が撮れるように、通過時間も掲示されている。